

たてものがたりフェスタ 2016 開催報告

(アーキウォーク広島 主催イベントの報告)



■参加申込者数（延べ） 144名

■広報：イベントガイドブック（広島県作成）

ガイドブックは県内各所で配布されたほか、広島県のホームページでのダウンロード配布も行われた。



なお、たてフェスの広島市内集中開催分については、中国新聞に告知記事が掲載された。

中国新聞 2016年11月10日 木曜日 広島都市圏 地方 29ページ



建物探訪

広島29カ所一斉公開

・安芸区）県庁舎（中区）不動院（東区）など。
地域の建物の一斉公開は「オープンシティ」と呼ばれ、都市を活気づけ、住民が愛着を抱く企画として国内外で盛んになっている。国内では大阪市の「生きた建築ミュージアム（イケフェス）」が知られ、昨年は約3万人が参加した。

アーキウォーク広島の高田真代表は「地域のお宝を知り、見慣れた建物の価値を認識することで、住む町の景色が変わって見える」と参加を勧める。詳細は「ひろしまたてものがたり」のホームページ、観光案内所などで配布しているガイドブックで。県営繕課 ☎082(513)2311。（増田泉子）

12・13日 普段未公開の部分も

広島市内の建物の魅力に触れ、町を巡るイベントが12、13の両日、一斉に催される。県のプロジェクト「たてものがたりフェスタ2016」の一環。旧日本銀行広島支店（中区）など通常公開されている建物7件を含めると、29カ所で実施される。

イベントは、建築家のアトリエなど民間建築と町歩きイベント12件を市民団体「アーキウォーク広島」が主催。公共建築10件を、所有する県、市などが担当する。普段は見られない部分の公開や、見どころの解説を聞くことができる。

これからでも申し込みできるのは、世界平和記念聖堂（中区）矢野南小（写真

2. 開催状況報告

(1) 平和記念公園・原爆ドーム

11月13日(日) 15:30~16:30

毎年開催している平和記念公園一帯の建物解説。広島町の成り立ちから話を始め、旧産業奨励館（原爆ドーム）を建築デザインから読み解き、慰霊碑のかたち、資料館に埋め込まれたスケール…など、詳しい解説を織り交ぜながら園内をめぐりました。



(2) おりづるタワー

11月13日(日) 14:00~15:00

今年リノベーション工事を終えて竣工した施設で、オフィスビルを改修し展望台を載せた全国的に珍しい建物です。オーナー様の解説とともに、通常非公開のフロアを含めて特別に見学し、デザインのプロセスやディテールの工夫を学びました。



(3) 世界平和記念聖堂

2016年11月13日(日) 14:00~15:30

建築家 村野藤吾による名作建築です。現地ガイドさんの丁寧な解説とともに、各所にちりばめられた村野らしいディテールや世界各地からの支援の証など、普段見られない箇所も含めて見学しました。



(4) 東平塚のアトリエ

11月13日(日) 第1回 14:30~15:20、第2回 15:40~16:30

建築家 宮森洋一郎氏のアトリエは、京橋川に面する、川の街広島らしい場所にあります。普段なかなか入れない建築家のアトリエを、ご本人による解説を聞きながら、じっくりと見学しました。



(5) 比治山本町のアトリエ

11月13日(日) 第1回 14:30~15:20、第2回 15:40~16:30

建築家 村上徹氏のアトリエは比治山の麓に、わずかな高低差を活かす形で建てられています。コンクリート打ち放しのシンプルな空間やシャープな造形の階段などを、ご本人による解説を聞きながら、じっくりと見学しました。



(6) 古田幼稚園

11月12日(土) 13:30~14:30

ルドルフ・シュタイナーの思想に基づく幼稚園の園舎。とても動的な印象を与える個性的な建物です。スイスに残るシュタイナー建築と比べながら、彫塑的な造形を木造で建てたという職人技の数々を鑑賞しました。



(7) 五月が丘の家

11月13日(日) 12:20~13:20

建築家 福島俊を氏のアトリエは、住宅団地に土蔵を移築したユニークな建物です。宮島の町家通りでのリノベーションなどで知られる福島氏らしい暖かなディテールや、建築以外の作品の数々を、ご本人の解説と共に鑑賞しました。



(8) イエズス会 長東修道院

11月13日(日) 13:30~14:30

カトリック修道院でありながら近代和風建築という珍しい建物で、現存する貴重な被爆建築の一つでもあります。見学会では神父様にも加わって頂き、建物にまつわるストーリーやデザイン上の特徴などを学びました。



(9) 不動院

11月13日(日) 10:00~11:00

広島市内唯一の国宝建築である不動院金堂は、京都や鎌倉の禅宗様建築と肩を並べる名品です。普段は入れないこの貴重な文化財を、藤田盟児先生（奈良女子大学教授）の解説とともに特別に見学しました。



(10) 本通り・袋町の建築めぐりツアー

11月12日(土) 10:00~11:00

広島を中心である本通り(旧西国街道)周辺の建物めぐり。旧日本銀行広島支店、頼山陽資料館、袋町小学校旧校舎、旧三井銀行広島支店(広島アンデルセン)などの様式建築&モダニズム建築から中の棚橋跡などの遺跡まで、解説とともにめぐりました。



(11) 己斐のまちあるきツアー

11月13日(日) 10:00~12:00

地元で活動している広島修道大学の学生さんたちとともに、知ってそうで知らない己斐エリアの路地や寺院、商店街などをめぐりました。



<その他： 他団体主催イベントへの講師派遣>

アーキワーク広島では、11月12~13日に実施された以下の他団体主催イベントに講師派遣という形で協力した。



基町高層アパート見学会への講師派遣
(主催：広島市立大学+広島市)



基町高等学校の見学会への講師派遣
(主催：広島市)



矢野南小学校の見学会への講師派遣
(主催：広島県)

3. 参加者アンケート

参加者に向けアンケート調査を行った。なお、同一人物が複数イベントに参加した場合それぞれカウントされるため、個人属性などはダブルカウントされている可能性がある。

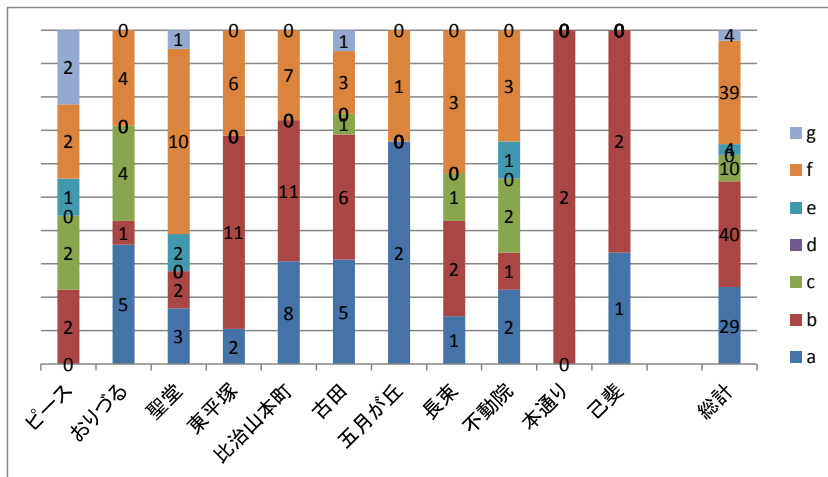
アーキウォーク広島主催イベントでの参加者層は、30~40代がボリュームゾーンで女性が多く、建築士などの専門家は少ない傾向があるが、今回は男女半々で、建築関係者がやや多いという傾向が見られた。初参加者が多く、たてフェスを通して知ったという層が多いのも今年度の特徴といえる。

自由回答で寄せられた意見には「イベント時間が短い（もっと聞きたい）」「申込方法が分かりにくい」といったものがあった。

アンケート調査 1：全般的事項

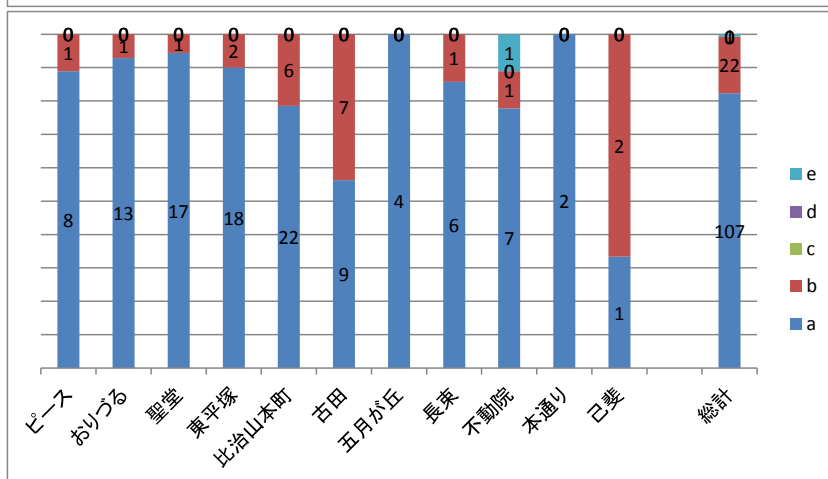
■ 1-1. 今回のイベントを、どこでお知りになりましたか？

- a. アーキウォーク広島のメールマガジン
- b. たてフェスのガイドブック・ウェブページ
- c. その他のホームページ
- d. テレビ・ラジオ
- e. 新聞・雑誌
- f. 知人から聞いた
- g. その他



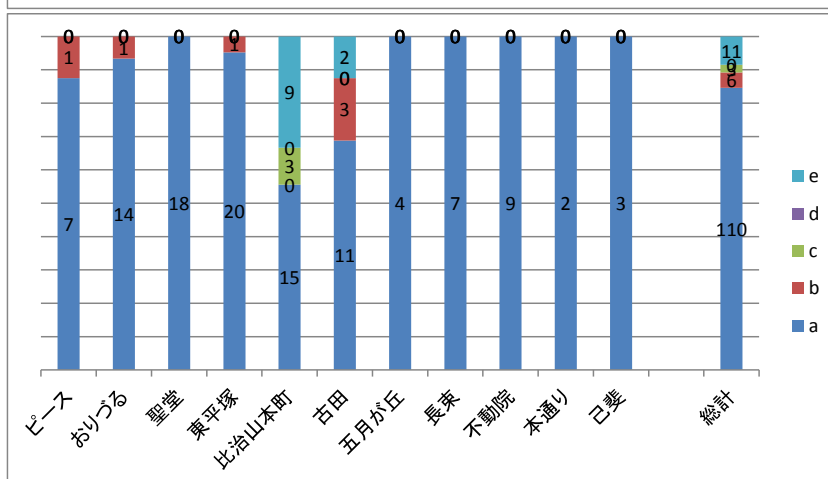
■ 1-2. 実際にツアーに参加してみて、満足できましたか？ その理由は何ですか？

- a. 非常に満足
- b. やや満足
- c. どちらでもない
- d. やや不満
- e. 非常に不満



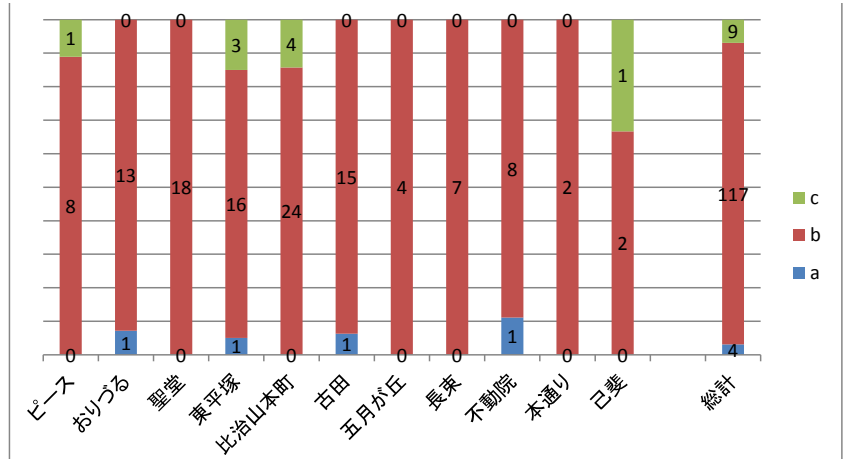
■ 1-3. ツアーの中で特に良かったものは何ですか？（1つだけ選択）

- a. ガイドや関係者の解説
- b. 配布資料
- c. パフォーマンス等の演出
- d. 良かったものはない
- e. その他



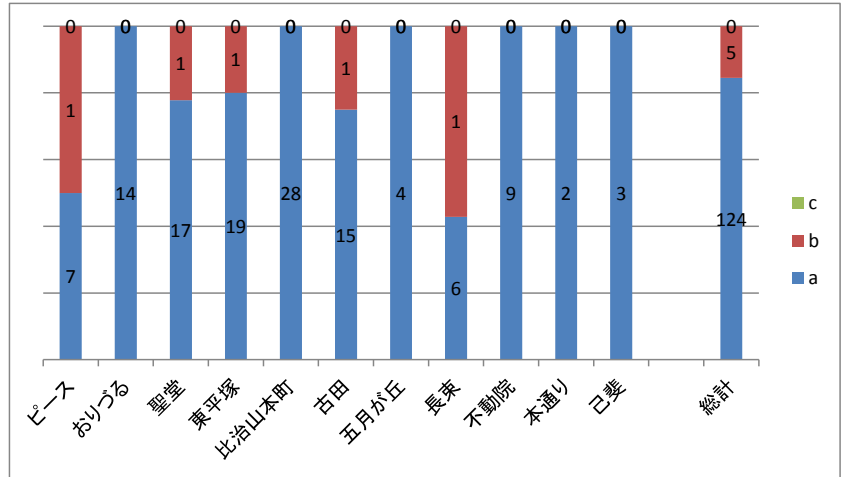
■ 1-4. 参加費はいかがでしたか？

- a. 高すぎる
- b. 妥当
- c. 安すぎる



■ 1-5. 今後広島で同様の見学会が開催されたら、また参加してみたいと思われませんか？

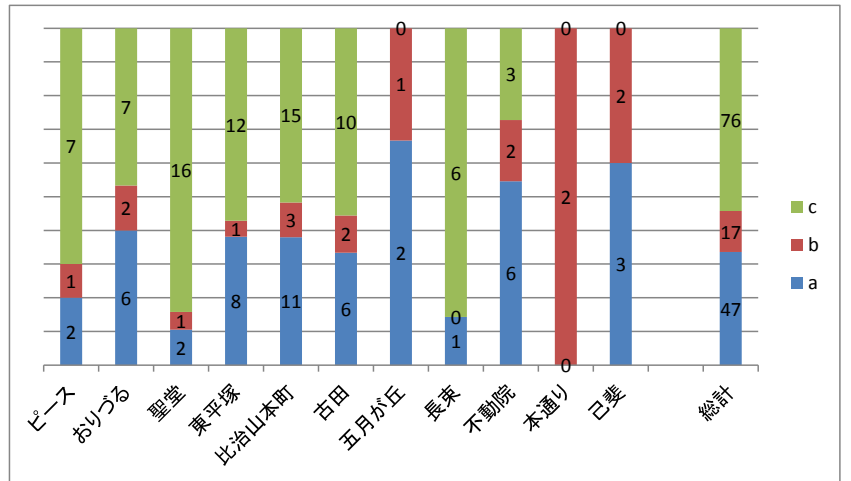
- a. 参加してみたい
- b. 分からない
- c. 参加したくない



アンケート調査 2：他の企画との関係

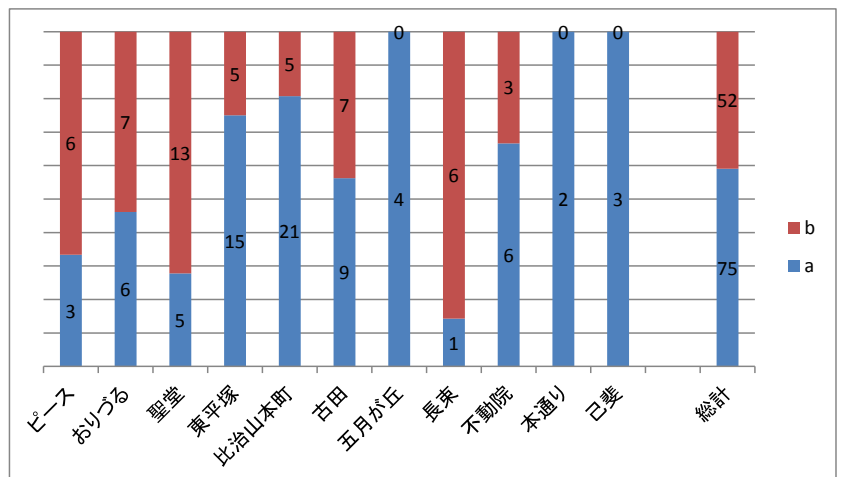
■ 2-1. 過去に参加したことのある、アーキワーク広島のイベントがあればお答えください。

- a. 建築公開イベント
- b. 講演会・セミナー
- c. ない（今日が初めて）



■ 2-2. 11月7～22日で開催されている建築公開イベントで、このほかに参加する予定の、または既に参加したイベントがありますか？

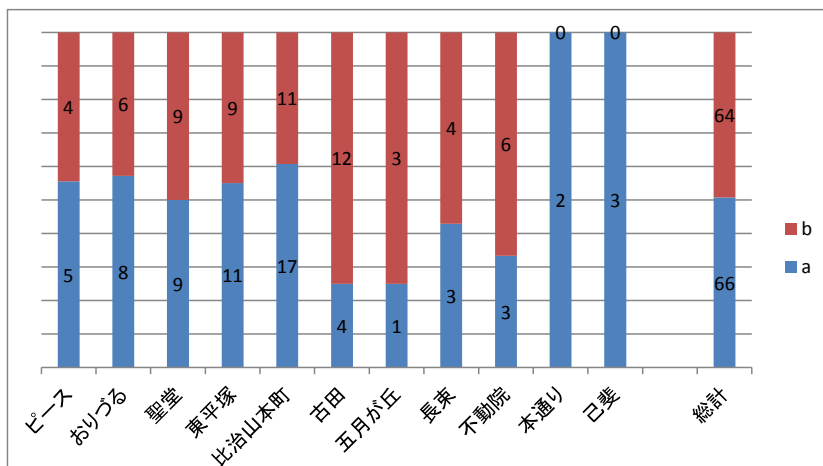
- a. ある
- b. ない



アンケート調査 3：個別事項

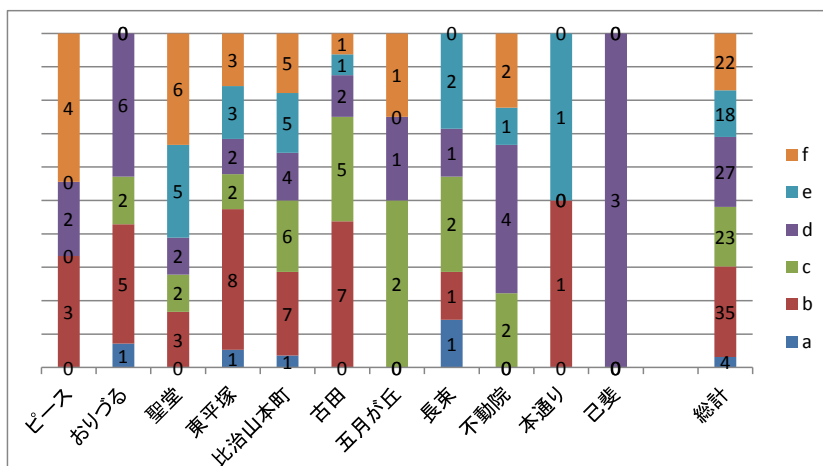
■ 3-1. 性別

- a. 男性
- b. 女性



■ 3-2. 年齢

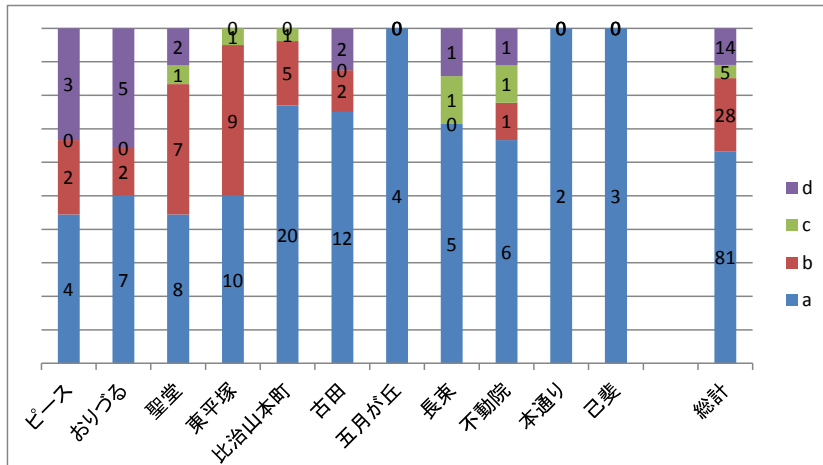
- a. 19歳以下
- b. 20-29歳
- c. 30-39歳
- d. 40-49歳
- e. 50-59歳
- f. 60歳以上



■ 3-3. お住まい

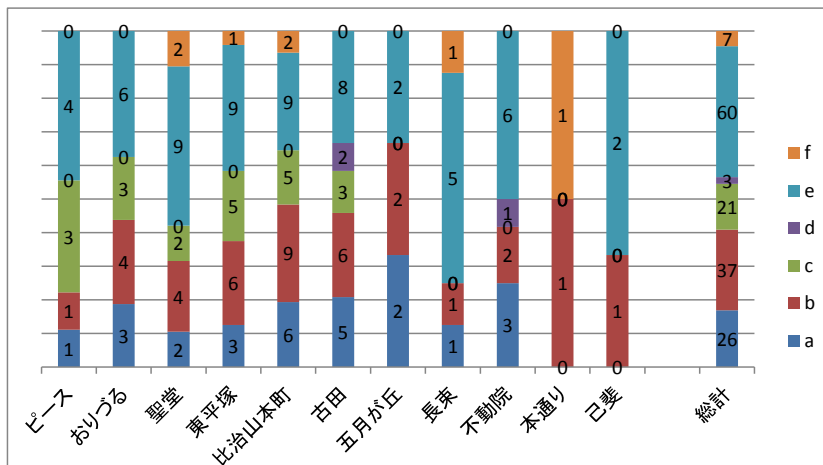
- a. 広島市内
- b. 広島県内（広島市を除く）
- c. 中国地方（広島県を除く）
- d. その他

※「その他」は、東京、愛知、大阪、香川、福岡、熊本



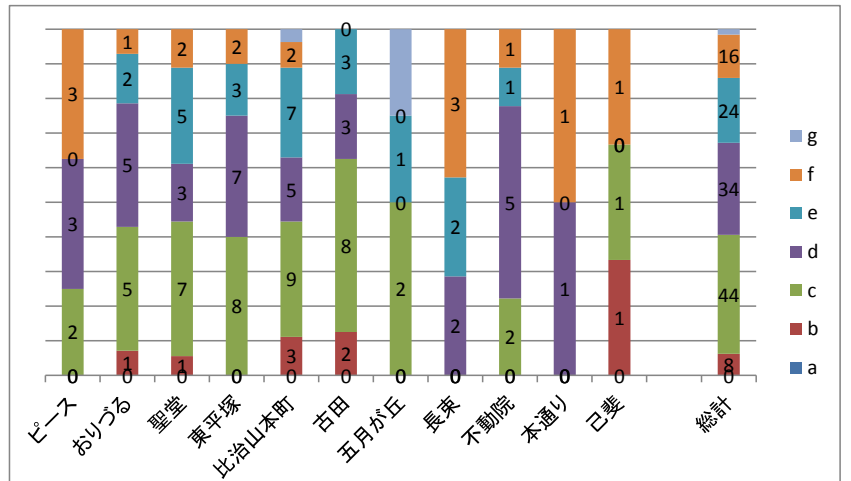
■ 3-4. ご自身と建築との関わり（あてはまるもの全て）

- a. 建築士である
- b. 建築関係の仕事に携わっている
- c. 建築関係の学生である
- d. 街づくりなどの市民活動に携わっている
- e. 趣味として建築を見ることが好きである
- f. その他



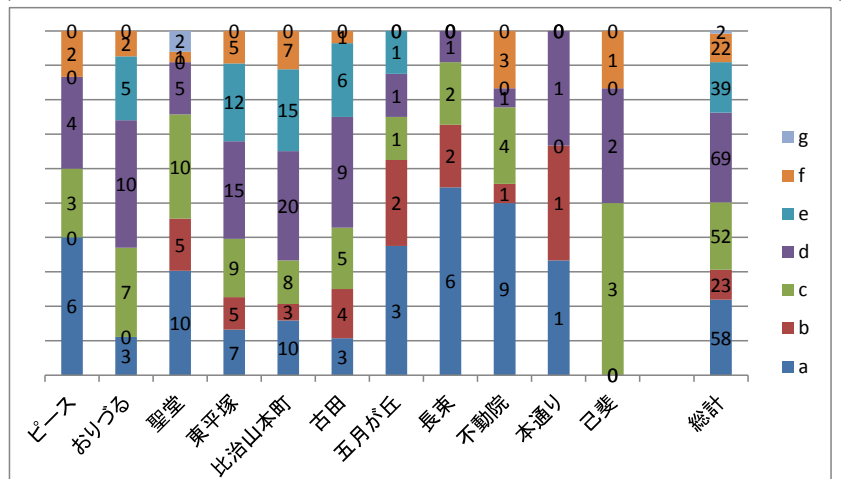
■ 3-5. 普段、どのくらいの頻度で建物見学をしていますか？

- a. ほぼ毎日のように
- b. 週に1～2回程度
- c. 月に1～2回程度
- d. 半年に1～2回程度
- e. 年に1～2回程度
- f. 建物見学はほとんどしたことがない
- g. その他



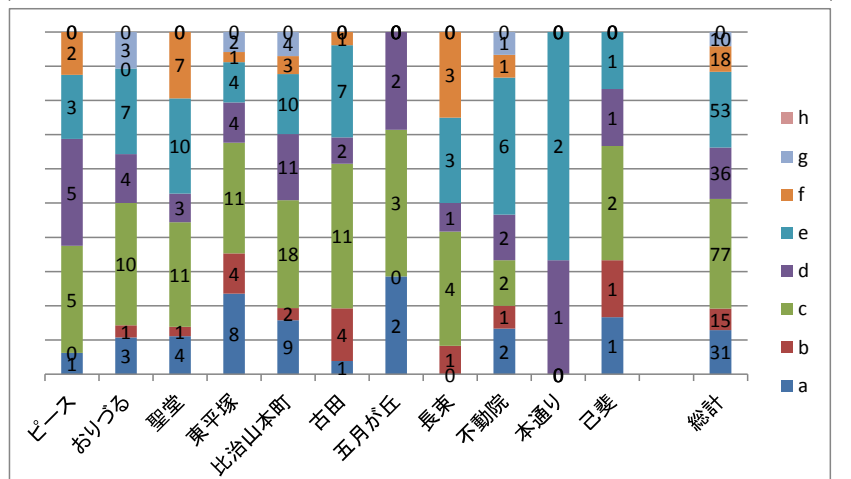
■ 3-6. 普段、興味を持っている見学対象はどのようなものですか？（2つまで選択可）

- a. 古刹等、日本の伝統的建築物
- b. 洋館住宅
- c. 戦前期など近代の建築
- d. 現代の建築
- e. 現代の住宅
- f. 現代アート
- g. その他



■ 3-7. 日本において建物見学をより普及させるために、どのようなことが必要だと思いますか？（2つまで選択可）

- a. 解説パンフレットなど配布資料の充実化
- b. 音楽や飲食をより楽しめるようにすること
- c. 内部見学可能な箇所を増やすこと
- d. 休日や夜間の開放施設を増やすこと
- e. 施設や地域の方から歴史・エピソードなどを詳しく聴けること
- f. 案内ガイド(人)の充実化
- g. 夜間における建物のライトアップ
- h. その他



4. 主催者所感

■今年度は、初の試みとして、広島県が実施する「たてものがたりフェスタ」の一環として実施した。アーキウォーク広島独自の広報用フライヤーは作成せず、広島県作成のイベントガイドブックへの掲載による広報となった。その結果、例年と比べて初参加者が多く、参加のきっかけとしてはアーキウォーク広島のメールマガジンよりも「たてフェス」ガイドブックが多いという結果となり、従来より広範囲への周知ができたものと考えられる。

■さらに、今年度は、当会を含む複数団体が同日に見学会を行うことで、広島市内 22 か所での同時多発的な見学会開催が目指され、厚みのあるイベントとなった。しかしながら、見学会開催時間が互いに調整されなかったため、特定の時間帯にイベントが集中し、個々のイベントの集客力の減少や利便性の低下という課題も生じた。

■アーキウォーク広島主催イベントは 11 (当初は 12 件で 1 件中止) で定員 220 名であったが、申込み総数は 144 名であった。申込者数が想定を下回ったため、アーキウォーク広島主催イベント全体では 1 万円程度の赤字となった。